

参加無料

迎春餅つき & しだれ柳花もち飾りづくり

飛騨の冬の風物詩「花もち飾り」と昔ながらの臼と杵の餅つき体験。
つきたてのお餅も無料でお召し上がりいただけます。

日時	平成23年12月17日(土) 午前10時から正午まで
場所	(餅つき) 白鷺橋上および下呂温泉神社内 (花餅飾り) 下呂温泉旅館会館
参加数	花餅飾りづくりは先着40名様 餅つきはどなたでも参加できます
主催	下呂温泉旅館協同組合



「花餅飾り」とは

飛騨の冬の風物詩「花餅飾り」。雪国の新年を花で飾りたい・・・生花が手に入りにくかった昔の冬の飛騨ではお正月の部屋を飾るための大切な行事であり、当下呂温泉においても各家庭はもとより、枯れない花ということで縁起物として各旅館の玄関などにも飾られております。

「しだれ柳花餅飾り」

飛騨地方の花餅は自然の木の切り株から出た枝に紅白餅をつける姿が一般的ですが、当組合では趣向を変え、温泉街の中心に植栽されている「しだれ柳」の枝を使用した花餅飾りを作成いたします。しだれ柳の花餅は稲穂の垂れる形をつくることから豊作を表現したものと知られておりますが、その楚々とした風情は見るものにやすらぎを与え、また、しなやかな柳の枝に咲いた可憐なもち花は周りを華やかに彩り、千客万来の象徴としてまさに旅館の玄関などに最適な飾りといえます。



新たな伝統文化の発信へ

今回の花餅飾りづくりは下呂温泉の各旅館のほか、一般の観光客の皆様にも参加していただき、自分で作った花餅飾りはお持ち帰りいただくこととしております。また、この花餅づくりを続けることで、古くからの風習を守りながらも新しい発想を取り入れ、新たな伝統文化となるよう下呂温泉から発信してゆきたいと考えております